



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社BlueMeme 上場取引所 東
 コード番号 4069 URL <https://www.bluememe.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 真功
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 市川 玲 (TEL) 03-6712-8196
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,194	10.4	99	△31.4	101	△30.1	48	△50.8
2023年3月期第2四半期	1,081	21.6	145	△15.1	145	△7.4	97	△9.1

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 50百万円(△48.5%) 2023年3月期第2四半期 97百万円(△9.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	13.76	13.38
2023年3月期第2四半期	27.94	26.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,885	2,457	85.2
2023年3月期	3,016	2,587	85.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 2,455百万円 2023年3月期 2,587百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,650	18.1	310	0.0	310	△0.1	230	△0.1	65.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	3,562,946株	2023年3月期	3,553,546株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	112,507株	2023年3月期	9,534株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	3,489,875株	2023年3月期2Q	3,489,651株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料には業績予想や将来の見通しに関する記載が含まれております。これらの記載は本資料の日付時点の情報に基づき作成しており、将来の結果や業績を保証するものではありません。これら将来の見通しに関する記載には様々なリスクや不確定要素が含まれております。このため、実際の業績等は、将来の見通しに関する記載によって明示的あるいは暗黙的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日～9月30日)における我が国経済は、急激な為替変動や資源価格の高騰、東欧や中東における紛争に伴う政情不安、欧米先進国を中心とした高インフレの継続と急速な金融引き締め等により、景気の先行きは引き続き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループの属する情報サービス産業におきましては、そのような状況の中においても、労働力の減少に対応する経営効率化や生産性向上はもとより、テクノロジーの活用により新たな価値や収益を生み出すデジタルビジネスの推進を狙いとするデジタル・トランスフォーメーション(以下「DX」という。)への需要は依然として強く、中でも将来の技術者減少や技術革新に対応するための情報システムの近代化、モダナイゼーションへの取組が活発であることから、IT投資の需要が引き続き堅調に推移するものと予想される一方、世界情勢の変化や金融の引き締め等を背景に、投資判断の先送りをする傾向が強まる可能性も懸念されております。

このような状況の中、当社グループは「新たな価値を創造し、常識を変え、文化を進化させる」という企業理念のもと、ローコードによる自動化技術及び当社グループ独自のアジャイル開発方法論を活用した、情報システム開発の内製化を推進するサービスを提供することにより、日本企業の国際的競争力を向上させることをミッションとするDX事業を展開しております。

当社グループの事業は、ローコード技術とアジャイル手法を最大限に活かせる当社グループ独自の開発方法論である「AGILE-DX」を活用したコンサルティング・受託開発サービス及び技術者向けトレーニングの各サービスを提供する「プロフェッショナルサービス」と、ローコードプラットフォーム等ソフトウェア製品を販売する「ソフトウェアライセンス販売」から構成されております。「プロフェッショナルサービス」においては、「OutSystems®」を中心としたローコードプラットフォームを活用したコンサルティング及び受託開発の提供が引き続き順調に拡大する中、将来の需要拡大に備えた当社グループ従業員技術者の採用・育成及びサービスパートナーの確保に加え、サービス提供の効率化を促進することや次世代の技術による新規事業のための研究開発にも注力いたしました。「ソフトウェアライセンス販売」においては、「プロフェッショナルサービス」の提供に伴う「OutSystems®」を中心とする当社グループ取扱製品の顧客への定着及び拡販に努めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,194,199千円(前年同四半期比10.4%増)、営業利益は99,745千円(前年同四半期比31.4%減)、経常利益は101,568千円(前年同四半期比30.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は48,007千円(前年同四半期比50.8%減)となりました。

また、セグメントの業績につきましては、当社グループはDX事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,600,481千円となり、前連結会計年度末に比べ193,788千円減少いたしました。これは主に売掛金が減少したことによるものであります。固定資産は284,546千円となり、前連結会計年度末に比べ61,911千円増加いたしました。これは主に投資その他の資産(敷金及び保証金)が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は2,885,028千円となり、前連結会計年度末に比べ131,876千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は375,647千円となり、前連結会計年度末に比べ17,620千円減少いたしました。これは主に買掛金が減少したことによるものであります。固定負債は51,595千円となり、前連結会計年度末に比べ15,385千円増加いたしました。これは主に事業所の移転・新設に伴い、資産除去債務が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は427,243千円となり、前連結会計年度末に比べ2,235千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,457,784千円となり、前連結会計年度末に比べ129,641千円減少いたしました。これは主に自己株式の取得によるものであります。

この結果、自己資本比率は85.2%（前連結会計年度末は85.8%）となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、2,190,856千円となり、前連結会計年度に比べ33,920千円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は、113,105千円（前年同四半期比44.1%の増加）となりました。これは主に、売上債権及び契約資産の減少185,275千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、50,272千円（前年同四半期は3,362千円の支出）となりました。これは主に、敷金及び保証金の差入による支出39,795千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、96,754千円（前年同四半期は39,605千円の支出）となりました。これは主に、自己株式の取得による支出180,917千円があったことによるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年11月14日開催の取締役会において、中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）を承認いたしました。詳細につきましては、本日（2023年11月14日）公表の「中期経営計画（2024年3月期～2026年3月期）・事業計画及び成長可能性に関する事項」をご参照下さい。

（中期経営計画概要）

1. 対象期間 2024年3月期から2026年3月期（3ヶ年）
2. 成長戦略
 - ・ デジタルレイバーの研究開発体制強化と実用化の促進
 - ・ 課金形態を人月工数からアプリケーション生成量へ転換
 - ・ 高単価なサービスを提供できるビジネスアーキテクトの拡大
 - ・ パートナー企業と連携した間接販売の拡大

3. 経営目標

（単位：百万円）

	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
売上高	2,650	3,100	4,100
営業利益	310	332	921
プロフォーマ EBITDA	421	546	1,191
受注残	692	956	1,851

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,224,777	2,190,856
売掛金及び契約資産	439,908	254,633
仕掛品	5,928	10,486
前払費用	37,468	117,731
その他	87,439	26,773
貸倒引当金	△1,253	-
流動資産合計	2,794,269	2,600,481
固定資産		
有形固定資産	80,167	96,727
無形固定資産	599	428
投資その他の資産	141,869	187,390
固定資産合計	222,635	284,546
資産合計	3,016,904	2,885,028
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,056	145,777
未払法人税等	19,824	59,202
契約負債	75,426	90,019
その他	66,959	80,648
流動負債合計	393,268	375,647
固定負債		
資産除去債務	32,826	47,682
その他	3,384	3,913
固定負債合計	36,210	51,595
負債合計	429,478	427,243
純資産の部		
株主資本		
資本金	970,644	971,243
資本剰余金	961,644	962,243
利益剰余金	669,686	717,694
自己株式	△14,660	△195,577
株主資本合計	2,587,315	2,455,603
新株予約権	85	63
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24	2,117
その他の包括利益累計額合計	24	2,117
純資産合計	2,587,426	2,457,784
負債純資産合計	3,016,904	2,885,028

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,081,463	1,194,199
売上原価	539,522	599,835
売上総利益	541,940	594,363
販売費及び一般管理費	396,502	494,618
営業利益	145,437	99,745
営業外収益		
受取利息	11	10
為替差益	-	2,042
貸倒引当金戻入額	375	1,253
その他	100	211
営業外収益合計	487	3,517
営業外費用		
支払利息	323	73
為替差損	239	-
支払手数料	-	1,441
その他	155	180
営業外費用合計	718	1,694
経常利益	145,206	101,568
特別損失		
固定資産除却損	-	2,233
特別損失合計	-	2,233
税金等調整前四半期純利益	145,206	99,335
法人税、住民税及び事業税	41,876	48,743
法人税等調整額	5,831	2,583
法人税等合計	47,707	51,327
四半期純利益	97,498	48,007
親会社株主に帰属する四半期純利益	97,498	48,007

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	97,498	48,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	2,092
その他の包括利益合計	-	2,092
四半期包括利益	97,498	50,100
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	97,498	50,100

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	145,206	99,335
減価償却費	9,439	7,131
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△375	△1,253
受取利息	△11	△10
支払利息	323	73
株式交付費	155	180
支払手数料	-	1,441
固定資産除却損	-	2,233
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	95,871	185,275
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△441	△4,557
仕入債務の増減額 (△は減少)	33,335	△85,279
契約負債の増減額 (△は減少)	7,466	14,592
その他	△106,610	△95,447
小計	184,358	123,714
利息の受取額	11	10
利息の支払額	△323	△73
法人税等の支払額	△105,532	△10,545
営業活動によるキャッシュ・フロー	78,513	113,105
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,705	△8,540
資産除去債務の履行による支出	-	△1,400
敷金及び保証金の差入による支出	△812	△39,795
敷金及び保証金の回収による収入	154	-
長期貸付けによる支出	-	△535
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,362	△50,272
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△49,998	-
新株予約権の行使による株式の発行による収入	11,045	995
自己株式の取得による支出	-	△180,917
自己株式取得のための預託金の増減額 (△は増加)	-	85,283
リース債務の返済による支出	△652	△673
その他	-	△1,441
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,605	△96,754
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	35,546	△33,920
現金及び現金同等物の期首残高	2,356,210	2,224,777
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,391,756	2,190,856

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(子会社の設立)

当社は、2023年9月26日開催の取締役会において、当社連結子会社である株式会社BlueMeme Partnersを無限責任組合員とし、2023年10月20日に設立した「BlueMeme 1号投資事業有限責任組合」（以下、「本ファンド」という）に、当社が有限責任組合員として出資することを決議いたしました。

1. 設立の背景・目的

当社グループは創業以来、固定概念にとらわれることなく、新たな価値を創造することで、これまでの常識を変え、絶え間ない文化の進化に挑戦し続けていくということを経営理念として掲げ、流行に乗るようなビジネスではなく、自ら未来をつくるビジネスを推進してきました。その中で、新たな事業の種を発掘することや顧客企業の新規事業を推進するような取組みを数多く経験していることから、ベンチャー投資における高いパフォーマンスが期待できると考え、株式会社BlueMeme Partnersを設立し、投資事業を展開しております。

多くのベンチャー企業が抱える課題は、当社グループのノウハウによって解決することが可能であり、BlueMeme Partnersの独自目線によるベンチャー企業の発掘や支援によって投資として高いパフォーマンスが期待できることから、ファンドを組成してベンチャー投資事業を推進していきます。

2. 本ファンドの概要

名称	BlueMeme 1号投資事業有限責任組合
所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目20番地
設立根拠等	投資事業有限組合契約に関する法律
組成目的	社会的課題を解決する産業創成を目的とする
組成日	2023年10月20日
出資の総額	450,000千円（設立時における出資額）
無限責任組合員の概要	名称：株式会社BlueMeme Partners 所在地：東京都千代田区神田錦町三丁目20番地 代表者の氏名：堀井 洋裕樹 事業内容：投資事業 資本金：75,000千円
上場会社と本ファンドとの関係	資本関係：本ファンドに66.7%出資しております。（設立時における出資比率） 人的関係：無限責任組合員である株式会社BlueMeme Partnersにおいて、当社の代表取締役及び執行役員が取締役を兼任しております。 取引関係：該当事項はありません。